(-4)

日一十月五 · 被 電話 形

總裁歸京

談世

く語る

的決定は七月頃開拓國策の最後

継載は、

十日午後九時卅五分

かしない。 で講新自身の問題などがよく云々 ならぬことは當然であるが ながない、具體 にはれる。

た「純化さいふこと をれた

◆佐藤健三氏〈橘洲石油草粉〉同
一大肥米天省大長 國都ホテル
・ホテル 「即氏(脅趾重役)同

▲高松園維氏〈官吏〉 都ホテ

大顔合せ!

空前絶後の

約爛豪華の大歌舞伎

に館髪理各は券員會 下用利御々精

の強をい

邀撃してをり 山また山に園 山また山に園 山また山に園 では賀龍麾下 一岳戦を展開中 て五臺山地區の敵狀を偵察する一方痛烈な爆撃を加へたが 敵は前日來續々と臺懷鎮及び 東北方山地目指して退却して をり、わが軍の南北よりする 五臺山壓縮陣に臺懷鎮の陷落 も目睫の間に迫り皇軍の士氣

、即ち一千萬區を突破し豫れば英貨にして大約六十萬 受付けた賣僞替の豫約を加

の非為力的態度にも拘らず飛場通道貨としての聯銀券の機能は爲替集中制に對する外銀側は爲なる外銀側の非の対成積をおさめ、貿易の場合を表する。

大統領斡旋で炭 大統領斡旋で炭

ト大統領は九日勢資南代表者 をホワイトハウスに招致し、 極力和解斡旋に勢めた結果、 双方代表者は十日更にニュー なつた

ウイタリー皇族、ムソリーニ には皇帝エマヌエル三世を始 のイタリーマに御到着、帰頭。

ルーズヴェル

首相以下各閣僚、各國外交團が出迎へイタリー、ユーゴー南國元首は帰頭において親しく握手を交された、次いで同とないて親しくでに起験下にはイタリー國王、ならびに起験下と御同事で宿舎キ

羅的に擴充しつるある。な為替集中制に對するが

敵遺棄死體

準によつて換算すれば實に五 人れた額であるが、正金銀行換算形萬磅、聯銀一志二片基 る、而して右は聯銀當局が買二ヶ月後の五月十日には英貨 百萬圓以上の巨額に達してゐ

中間は頗る好成績を示し、同一日より實施された爲香集十一日より實施された爲香集

月 省間に最後的折衝を進めると 集 へもに計数整理を急いでをり 近く正式決定を見る筈であると り十五年三月に至る一ヶ年間 における物資の需給關係 における物資の需給關係 における物資の需給關係 における物資の需給關係

正品目の増 アルミニ ルプ、車

【上海十日愛國通】 薬奥商業 森る十六日正式開業の運びを 来る十六日正式開業の運びを みること」なつた

聯銀爲替集中制

本年度物動計畫

一抱込みに躍起

英リの工作不統

折衝進捗の上近く決定

原對滿事務次長

原邦道氏は十八日新京に開催【東京國通】對滿事務局次長

對獨伊包圍陣結成に

第七軍管區 四二ヶ月間における第七三、四月中戦果

高ことになった

高ことになった

ことになった

点不, 人夫一、負傷將校二、 兵八、人夫一、負傷將校一、 兵八、人夫一、負傷將校一、 兵八、人夫一、負傷將校一、 兵八、人夫一、負傷將校一、 兵八、人夫一、負傷將校一、

般市民に嚴命

▲高橋勳一氏(浦級社員)十 日來京ヤマトホテル 住藤二郎氏(會社員)同 本野村惠二氏(同)同 本野村惠二氏(同)同 の 本野村惠二氏(同)同 本野村惠二氏(同)同 の 本野村惠二氏(同)同 京

名 中央警察學校本科生七十六

长计

分子

主義を記し

の説は常盤は

本根橋領二氏(満州輕金屬理事長)同本小早川貞三氏(同)同本小早川貞三氏(同)同本小早川貞三氏(同)同本が哲己氏(満炭社員)同大都ホテル大都ホテル大都北テル 同同本大橋金三郎氏(宮東)同本大橋金三郎氏(宮山員)同本大橋金三郎氏(宮山員)同本大橋金三郎氏(宮東)同日本大橋金三郎氏(宮東)同日本大橋金三郎氏(宮東)同日本大橋金三郎氏(宮東)

▲齊々哈爾宮前小學校生徒八十五名、午後七時州分新京 帝國門より 新臺地方會主催鮮滿產業混 奈國二班州名 午後十一時 五分新京發奉天へ

お夏湯

を書

● 腹瀬重太郎氏(滿洲取引所 三五町眉古屋木テル前

力時

から合ひ

砂行惱み狀態

● 見玉腹治氏(會社員)同 ● 県 東 山 蔵氏(三 変 商 事) 國 都 ・ テル 本 戸 本 戸 氏(日 本 海 上 火 炎) 同 ● 本 戸 本 直 科 ・ 市 本 直 科 ・ 市 ま 直 と 、 で 天 市 本 道 科 長) 同 ● 中 富 質 之 氏 (海 新 趣 理 部 長) 同 ・ 市 富 質 之 氏 (海 新 趣 理 部 長) 同 ・ 市 富 質 之 氏 (海 新 趣 理 部 長) 同 ・ 市 富 質 之 氏 (海 新 趣 理 部 長) 同 ・ 市 富 質 之 氏 (海 新 趣 理 部 長) 同 ・ 市 富 質 之 氏 (海 新 趣 理 部 長) 同

首脳部が生命惜しさの亡命 に大変べでは、撃たれる兵こ を哀れ からる状態では、その内部の當然

下と同道、マルコヴィー訪問のユーゴースラー い間のバウル殿下はオル

□ 同同 同同 日本 (日本) 日

工部局の

滿鐵社

員俱樂部

大會が

中陸三氏(電業計員)三山麓三氏(長来)同田製氏(長来)同田製工(官吏)同田製工(官吏)同

U

工部局の本心が判らう

Ħ 日間 H 日

料塲入格破 特等 軍人·學生 一等員祭 五圓 二圓五十錢 (稅共) (稅共) 四

「量」○、五○○駐△登動 ・量」○、五○○駐△登局 ・一九米△全高五、四五 ・一九、二五米△全品

出發を前に十一日左の

黑井

忠

農園前

田鍼灸院

工場操業を開始 工場操業を開始 かれて建設中の満洲車輛株式 會社(資本金五百萬圓)皇姑 也工場はこの程竣成、窓々十 也上場はこの程竣成、窓々十 也上場はこの程竣成、窓々十 場は建物延坪一萬二千坪、起 環機、鑄造領、六萬キロワ ットの電氣容量を有し近代日 あた一大車輛工作場である

HILERANIKKE BUITEBANIKKE

タは左のか

如公

日

願出は殺到すれど

さて家は建つか

任宅難解决の道遠し

待つた、盗難注意

思

突發握の大業を

依嘱するこ

で西下獲支するが、

首警、防犯を家庭に呼懸く

出るは

よ

跡を保存し永遠に後世に傳麗政府は埋れた往時の各種語

る計畫を樹てわが考古學會の

日

後一時三十分頃(時間變更)

男爵機はいよく十二日午共の盟邦獨邀の翼の親海便

防共の

翼ガ機

す國都

直に試験通信の形式に於て 施し更に優秀なる新式機械

待望の寫眞電送 二日から實験 成績よければ全満的に實施

全世界電送を理想に

チ

オを通

廣東から二次

本で電水電局と選信省との間 施すべく頗る張切つてゐる、 部業で電水電局と選信省との間 施すべく頗る張切つてゐる、 部業で電水電局と選信省との間 施すべく頗る張切つてゐる、 部業で電水電局と選信省との間 施すべく頗る張切つてゐる、 部業で電水電局と選信省との間 施すべく頗る張切つてゐる、 部業で電水電局と選信者との間 施すべく頗る張切つてゐる、 部 双傷留學生に 懲役八年

|國内主要都市間にも實|| た愛人の満洲國學生明大女子を俟つて正式業務開始|| 七月十一日他人のもとに走つ更に優秀なる新式機械|| 【東京國通】去る昭和十一年

告棄却され、 五百日通算)

部生徒劉然舟(當時二三)お を杉並區高圓寺河野アパート において肉切庖丁で殺害した 満洲嶼熱河省生れ、當時東京 神田猿樂町明大生甘雨浦(三 一〇)にかゝる殺人事件は、十 日大審院久保田裁判長から上 音楽却され、懲役八月(未決

潮させ

成績を收めたもので、本年は一三十六萬人におよび非常な好

奉天、大理

局に中繼(新京、 新京スタデオか

操會場或は

6

全滿一齊七月一日から實施

體操

名稱も「國民精神振興建國體

場毎に協和

この催しの

を行ふことになって 型は第二放送)各會 型は第二放送)各會 で表した各團體個人 で表した各團體個人

使氏雨代表を送ること」

版東市商會副會長馮

午後一時飛行

に向った

建國體操

型式可興館プロペラム最大 ・ 四〇〇にて三〇五軒 を一、四〇〇にて三〇五軒 を一、四〇〇にて三〇五軒 を一、四〇〇にて三〇五軒 を一、四〇〇にで三〇五軒

變單午後一時三十分

た、これは昨年初めて電々會が協和會、體育協會、電々の共同主催で七月一日から一世の共同主催で七月一日から一世の共同主催でもある。 一下一齊に行ふラデオ體操 の國民が號

波多野中將講演

0

00

記

安島八郎氏講演

いけ有界をふのジ七將本

に引奉されて十日午後六時四る滿州視察團一行は山下教官晋北學院生徒四十三名より成晋北目治政府の官吏養成機關 晋北學院視察團

交通訓練デー

張家口

成る日滿親察團一行十四名は張家口特別市の商工業者より 視察團

代十六日大連十九 日で二の合 洋黒同好會第一回作品展 電局好會第一回作品展覽會は 上つてるる に上つてるる。 に上つてるる。 に上つてるる。 に上つてるる。 に上の大作をはこめ約百餘點 に上のてるる。 中一日午後八時十五分着列車で来京、十二、十二の兩日新京を視察したのち十四日午前 が、大時州分發列車で率天へ向ふ

双五龍名王安大綾青大鶴出相照小番 ム白九金富十布 縮陸 葉ツ王寄 婆 葉耶ケ羽模 松神中 ケ華田三 奥 山島山岩海海浪若山山衛花川國山山大震錦山濱錦引谷里 駒男前笠磐出鹿椨和佐富倭藤金高嶺 ノ女田置 羽島 歌賀士 / 美 氏筈 / 里川山山石湊洋甲島花 嶽岩里湊登樓 錦錦川若山山 潮里 綾鏡羽大鰐肥雨大板旭神幡柱巴 黒和ノ州 ノ 東州 昇岩山綿坦山國潮里川山川川潟

喫茶力心

親戚總代

清;

急募

こと

喫茶大サロン

歳を る

近代新感覚 等

の時幕半 一日日収組帯は開いたのだ。海側夏場所

四四

協會総會は來る十八、 りを見せてゐる新版東もこれ 兩日滿洲國新京に開催される 經濟提携を企圖する日 設の意氣に燃ゆる日滿兩國の【廣東十日發國通】新東亞建 最近盆々潑剌たる更生ぶ 原東から二代表 會民政處政務科長楊 る爲、廣東 九日の

特に間初日の一日と終了 のガー日は日滿兩國歌を奏 、協和會副本部長の開会 とで「建國醫師」に因ん が表記を選挙を変制中はこの保証に因の のラデオ體操として恒久的 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展を変化した出 なものにまで發展させるべ に無崩れ 人はギッ 夜明の覺悟の

中野正剛氏雖京

原因を調査中である

十一時には十一時には



糧

9 逸 新 りよ日二十

日 ヤギ階五

開 占

夫思一儀五月六日腦溢血を起した。 大思一儀五月六日腦溢血を起した一般一年一日午前八時十分が去致にに付此段謹告仕候。 大子堂に於て佛式を以て相答可申候 水子堂に於て佛式を以て相答可申候

新京大同大街(康徳曾館) 一内地人に限る 高等女學校卒業程度 毎日午前九時より午後四時道 毎日午前九時より午後四時道 一三六六五

吉野田田井 池明 正幸

友人代表

道而告別式は来る十二日午後四時 御通知に代へ謹告仕候 佐世保市に於て病死致候 展開此段 時新京曜町大

豊吉郎郎郎久一秀文

友人總代 親戚總代 中相鲤得橋田星小

社会融合 **所造製子順康大** (含弦鏡鏡玻璃大) 東語家孟北道鉄京新 必通書私局政郵央中京新 西海八一次(全字表書 初夏近 1 爽凉の味覺

酒

十時三十分發列車で一路故國に向ふ、十二日午後から尽、記念公會堂に安置され同夜は市民の手でお通夜を

日着京お通夜

時十分院爾濱方面より、同七時三十分吉林方面よりの隔度に亘つて來て陣竅した皇軍將士の遺骨は故國に無言の凱旋の途次、十二日午後三國境第一線の守備に國内の為安確保の重任に當り練々たる武勵を遭し

五.

六

百

人 F 五.

部可した民間側住宅建築は 一月百五十七戸、二月百二十六戸、三月百九十六戸、二月百九十六戸、

遊んだ方が

よい

【東京國通】

興亜院および蒙

鳥居博士渡支

蒙疆

の古

等代表的なものがあるが、 等代表的なものがあるが、 等代表的なものがあるが、 を有面と聯絡し調査の方針を 関でに行くのだが、調査の方針を と進言することがあればと 上進言することがあれば進し と思ふ

器

世其類瓶

文化保存

過們の青年逃避行

市當局積極的に乘出す

教育の刷新

然州加に伴ひ滿

人教育行政の刷新を計畫中で學校に引取るべく全面的に滿

物凄い夏場所

寫眞の花嫁は

の知きも本年度に於で千五百 地である。さらに最も活躍を 地である。さらに最も活躍を が特注日されてある房産會証

表月廿八日大連居住の叔父の まサラ(仮名)と大連神社に まサラ(仮名)と大連神社に に反し気に入らず、大連神社に に反し気に入らず、大連神社に に反し気に入らず、大連神社に になり連日解一、二等待合室 になり連日解一、二等待合室 になり連日解一、二等待合室 現在の學校施設では到底收容 現在の學校施設では到底收容

将来に憂慮すれば すれば兩州國人二世の これが悩みの解

東京國通 恐るべし大相撲 現態長蛇の列をなし國技館を 現態くすさまじさ、滿を持し、 であた協會もこの物薬い押し であた協會もこの物薬い押し

初日の景氣

主なる放送

▲七・国の講演(東京)清川玉枝外 魚頭信(東京)小泉忠 魚頭信(東京)小泉忠

道の場

の美辭麗句集の一の宣傳文

洋品百貨

○…ニュ ⟨大會と銘打つ

電話(コン二五二〇番

×助之々百川市・作 健 原・治文小川市 ×彦 勝 川 磯・喬 村 志・介良川香 ×男 邦 村 田・るほか野中・子代千倉大

136 E 正の芳香、この絢爛 原本して光輝を放っ 原本藝術の最高峰諸 では、この芳香、この絢爛

高最西蘭

出進畫映回一第劇歌女少塚實

れる最初の

難山東野麓園松秋 波鳩 (美萬井山 條路 并 山 一子龜惠 子代子子稔 帶

電業支店 で必ずお報せ願ひします。職がします。職がします。職がします。

電気御相談



る誇が都京興新



男伊達薬か



美鳩まり・浦邊粂子 山路ふみ子・清水将夫 人生の後の質問を描い



ある應召兵として北支に 名に軈て今次の雲月としたに軈て今次の雲月とし 文に今尚ほ活躍して居りまが滿洲に初の出演です!然として大いに期待をかけらし、素暗 も父は名の









にまさらのやうに思ひながらいまさらの弁文とは、だいぶ様子がちかつてゐる、と小次郎は、江かつてゐる、と小次郎は、江かつてゐる、と小次郎は、江東前の、故郷を出た當時

と存じまして、立ち寄りまますが、一度母にも會ひたますが、一度母にも會ひたますが、一度母にも會ひたますが、一度母にも會ひたますが、一度母にも會ひたますが、一度母にも含むたますが、一度母にもなった。

まの駭きかたを、どこか馬鹿にた 左衛門は、むしろその小夫郎た 左衛門は、むしろその小夫郎

と見置をつけて、 と見置をつけて、 は思はながつたが――まあ、 それはそれとして、お前には 色々と話もあるが、今夜は、 をを話もあるが、今夜は、

演山

まさかお前がこの土地に跨 って来るとは思はなかつたが よく歸つて来られたものだ、 といふ風な冷めたい、表情な

文左衛門が、代官の相澤彦 を対しかぎよろりと、眼の とが光つて、どうだお前は、 であらうといふ風なた時には といであらうといい。 とうだお前は、

談

吉堅甲一丁目

畫

用心記

七七七七八八九 傾傾傾傾傾傾 六六六八四八四

阪

村伸

大雅。

寄鎌カペオプ ▲ 三一士十七五鬼 筋筋ルゴム」 印 假限圏限限限

小夫郎は、我が家に歸つて来てゐるのに、まるで他人の来てゐるのに、まるで他人の来てゐるのに、まるで他人の支閣に立つてゐるやうな不自由な、ぎこちない氣持がして来て――しかも、目の前に立つてゐる伯父の文左衛門の態での中には、小夫郎が、張くゆってゐたものをはねのけて冷めたい憤りが、ふつふつとつあるたものをはれのけて (第の服装を

東部自2349 = 6165

漫書をサティの歌へ開れ

公債株式しま現物賣買

17場内支店 13 三九一

海本八重子 本八重子

듯 등 등 長憲座

(日曜金)

らにして気儘にさせてゐる。し、なるべくわしと遊はんやし、なるべくわしと遊はんや

實株 專門 = = -

2,14 5,13 7,05

6,45

8,25

日生

断負崔

2,49

#余

数

元元元和60元元6**百**尺豆

各地株式市况

● 11 | 至栗引 | 11 | 東電引 11 | 云栗本 近ト豫ロラ告 日ン

街の旋風

部キネマ 田〇田

1,46 4,46 7,55

12'00 3,00 6,00 9,09

2,01 4,50 7,85

京

本と町奴を告十三日より 場

腰温御果内

銀座十字



月下の苦式が 大郎

















か

0)

中運動會

(に既で)

ることになったが、

日釆縣長の任命は北邊國防體制の促進に寄

政府は東安、北雲二省の新設に伴ふ百脳部人事は既に

縣長に日系任命

設に伴ぶ中堅官吏の異動

、しかして日系群長数は以上八縣を以て原則とし粉來この方針が黔襲せられる筈で、右八縣の頭縣長は次期景で、黒河、葆昊二縣の縣長に經驗手腕ある日系任命、以て國境接讓地帶における縣行政の認適を闖ることにない所三日中に禮談されることになつた。今回の中堅官吏異動中白眉とみられるのは常山、虎林、綏陽(新設縣

するに ののたるに を な果めらなる。 を なるとし

特のため軍司会を発音を開きるのという者は海後策研究

合民の第

る綜合生産力擴充方策に

(上海十一日愛國通) 五月十一日午後四時發表 = 一十日わが海軍航空部隊は一、十日わが海軍航空部隊は一次 1 日本の 1 日本の

は福建省奥地中央部の要地は福建省奥地中央部の防禦砲火塩型なりしたるわが方全勝無事跡還せりよいの影響を貨職したるわが方全勝無事跡還せりしたるわが方全勝無事跡還せりしたるわが方を勝敗事跡である。

據が觸りしいを破る地

な別に炎上せしめたり 強烈に炎上せしめたり 南部の敵重要根據単徐関を 政撃、大なる損害を與へた るほか一部は海南島におい て陸軍部隊と協力すると」 もに南濫方面を爆撃多大の も、関係を のである。 のでる。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。

て敵を完全に制態せりの直攻撃中にして航空部隊の一部は鎮海砲臺上空にありて航空部隊の

写崩打へ

敵前面

作戦敢





満洲國は

迄



橋 多議 ※

談

滿生產擴充會議

今夏新京で綜合檢討

安泉

省建福

を猛襲

南支爆擊續行

程御願い致します

尚真鍮看板浮彫金文

字ブロジング

(ガラ

ス焼付文字)

等材料

れば何卒今後こも宜敷御引立

0

ける

覺悟

0

もとい

奮闘致

します

共充分なる

自

書道に

於て

も今後

信を以て喜んで戴

東京 は は は は は は は は に から と が に き いっと を が ら と を が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 が ら 左 の 如 き ご し を が ら 左 の 如 き ご し と を が ら 左 の 如 き ご し と で は ず す な が ら 左 の 如 き ご し で は で に と を が ら 左 の 如 き ご し で は す な が ら 左 の 如 き ご し で は す な が ら 左 の 如 き ご つ の

獨紙に掲載 ・ 民主主義的政権援助に奔走してゐる、即ちいようをしてゐる、即ちいようをしてゐる。即ちいようをしてゐる。即ちい、東京標軸を職場は支那によりとてゐる。以為と即待してゐる。為洲國は李麗により日本を弱してゐる。為洲國は李麗により日本を弱いた。 一、民主主義的國は支那に為めんと期待してゐる。 一、民主主義的國は支那によりの情質盟國であり、東京標軸を脆弱は支那により日本を弱いた。 一、民主主義的國は支那により、大分質質につるる。 一、民主主義的國は支那においてゐる。 本の援助により日本を弱いた。 一、民主主義的國は支那においた。 一、民主主義的國は支那においた。 一、民主主義的國は支那においた。 一、民主主義的國は支那においた。 一、民主主義的國は支那においた。 一、民主主義的國は大力。 一、民主主義的。 一、民主義的。 一、民主

抗争す

6

拶

迷惑を 手不足 の爲め かけました 御得意様に が此度

從業員を増

し今迄

0

御能こして

A

級 板

高

往

懐鎭を占 五台の牙城遂に潰ゆ た、勇士達はどんなに嬉しかだが、そこにはわづかながらればが、そこにはわづかながらればない。 部發喪=四月中における北支【東京國通】大本營陸軍報道 攻勢反擊 北支綜合戰果 大面の討伐は敵の所謂四月攻 動が多数にのぼつてゐるが、 その綜合戰果の概要左の如し 主なる討伐回数約三百回、 意三千、敵道棄死體約一百三十 七千五百、捕虜約二百三十 七千五百、捕虜約二百三十 七千五百、捕虜約二百三十 七十五百、捕虜約二百三十 七千五百、捕虜約二百三十 七十五百、捕虜約二百三十

治安妨害行為 嚴重に處罪す

上海租界當局佈告

(日曜金)

齋藤少母戰死

で○○十一日愛國通』大別山脈の西南方面に向つて大洪山脈地區より雪崩をらつて逃げれる。 行く敵に對し、わが猛攻部除は急追の手を緩めざるとともは急追の手を緩めざるととも

敵の敗行路たる

大別山脈の西

光攻部騒の長瀧、磯谷、倉林 上流地區において戦略的大旋 回を敢行、十日の猛雨の中を

・ けぶふ敵の大軍を殺見、十日 ・ 保極まる全滅戦の繪卷が縁展 ・ 保極まる全滅戦の繪卷が縁展

を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を競扱してある。 を発見してある。 を発見している。 を発している。 をとなる。 をとな。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 を

無子花」の新興歌 は裸博士で迎る程 地去した、享年七 地去した、享年七 地子で迎る程 でで迎る程 でで迎る程

西大南别

地區出土

快極る殲

孫民生部大臣 であつた孫民生部大臣 は一次選の に出席のため出張中であつた孫民生部大臣は十一であつた孫民生部大臣は十一十一年後八時十五分着列車で闘いた。

員一中聯

します

列車で南下したアー日午後六時五及び檢察應院廳式

五十分新京の大学列のため

豊富につきドシ

相安東

民

御注文の程お願ひ致

関番號左の如一門に乞ふるの数

減されたる**敵**師

寧

【漢口十一日發國通】中支軍一 戦はざる名將 戦つて凡將 報道部長談

百十七の各師

本井上一象氏(朝鮮總督府)
十一日來京中央ホテル
十一日來京中央ホテル
十一日來京中央ホテル
一十名同
日本旅行協會鮮滿視祭園一
行十名同
和工監禮氏(滿航部務)同
本河野喜作氏(大同洋灰常務)取締役)同滿蒙ホテル
本荒卷義勝氏(滿加常務)同
神でトホテル
本荒卷義勝氏(滿加常務)同
神で長)同

に反蔣運動 支那軍醜態を痛憤

兵に伴ふ兵器がど

に備へんとするので るといふ▼第二の るといふ▼第二の

獨伊の順起にびつ

部は河岸附近石室に移轉、 一、鎮海封鎖後、支那単は相一、爆撃後は高取引全く停滯 當の防禦麓設を附すべき必 大に撤退方請願を決議した 人としつ」あり で無難です、却つて軍職を が成れに集結し日本漁行機要 中國銀行率被分行經理院履 を開題を演ずるのみで住民 が開墾を演ずるのみで住民 が開墾を演ずるのみで住民 が開墾を変形り、銀行、終商 の和慣想度の整高く軍民の が開墾となつた」め の和慣想度の整高く軍民の が開墾となつた」め の和慣想度の整高く軍民の が、行員の解雇、養業体 が、行員の解雇、養業体 が、行員の解雇、養業体 が、行員の解雇、養業体 が、たる が、たる のがではますく、を が、たる が、たる のがでする のがでがでする のがでする のがです

問にわたるわが 回にわたるわが 回にわたるわが 一点の極に達し人心 の極に達し人心 の極に達し人心

海に派し

で兵を集にあるの ぶに非常動員令を下しのか兵糧はどうか▼佛

がない▼これぢや動 らぬ▼そこで国國は担 られ▼そこで国國は担 集めて見たも 人り▼達來の思表を週 一人り投行五ヶ年計畫の完 によつてこの刻下の危 によつてこの刻下の危 によつてこの刻下の危 によってこの刻下の危 によってこの刻下の危 によってこの刻下の危 によってこの刻下の危 によってこの刻下の危

國の態度及

の國に個別的保障を與ふべて如き

門に亘つて兩國の親善提携 つて間進満洲の實施一行がすぐれたる間 これることをわ れらは

英國政府は最近或る東歐諸

獨伊提携の

あつたが、 **にゐる。すなはち同會談の** 容は最近の新情勢に對 権の問題に **ノに於いて會談を行ひつ** 先般來獨伊兩國の外相は に関し兩者の意見は

日

目的を達成し

あくまでも反撃政策を暴績すれが各個撃破の態勢を以つてれが各個撃破の態勢を以つて 英率線草河口驛南方一里の山 安本線草河口驛南方一里の山 安本線草河口驛南方一里の山 大に報告し、建田社長建田利平 で社命を帶び同地附近を調査 中山上に城壁らしい跡を發見 で社命を標び耐地附近を調査

否はともかく英佛兩國が

兩國はコンミュ

山城沟で發見

の結果、高勾雕の山城址であー兩氏とよもに七日現地探査 國考古學會に報告した、同行 ることを確認し、直ちに滿洲 高勾雕王國は約二千年前に高勾雕王國は約二千年前唐のため滅された、百年前唐のため滅された、七百餘年王統

は、高勾雕城をしての係が、九日白根宮が内正門石築土居の一部) が内に全が多くて除り腹く なく瓦片が全然見當らなか なく瓦片が全然見當らなか なく瓦片が全然見當らなか なく瓦片が全然見當らなか なく瓦片が全然見當らなか で正面の谷を埋めた土居も で本く瓦片が全然見當らなか で本である(窓霞は が、九日白根宮が が、九日白根宮が が、九日白根宮が が、九日白根宮が が、九日白根宮が である。

にして典雅静 なる連として真雅静 なる連として宮城外苑を整備として宮城外苑を整備 では、 一度人を取容する医場を活 は一度人を取容する医場を活 に御親臨臺を設け、前方に に御親臨臺を設け、前方に でのであり、二重橋前度場 でのであり、一重橋前度場

申上げやうといふ市民が心から皇室

のである のである

部下思ひの除長は後方に運ば もありません」と自分は嘘を 烈で笑ふ表情も不可能なのだ 別で笑ふ表情も不可能なのだ りん」と言つて笑 られただけだ腰長は佐々木軍 りんだけだ腰長は佐々木軍 **延攻にソ** 版して退却したらしい ・聯兵は全く難倒され ・ 味方の

六

はこうをであらう。英國の如きが、きであらう。英國の如きが、きであらう。英國の如きが、きであらう。英國の如きが、

ると 後を振向くと刀を枝にして上 後方に運んだ、統正は益々激 診って指揮してゐられ らしい、「右に一部廻つたら 関 て指揮してゐられ らしい、「右に一部廻つたら 関 て指揮してゐられる位だから の木の下にやつとのこと横に 血が 大した負傷ぢやないだらうと することが出來た、細田中尉 何堂 ないたりず知らずの中に自分を職 が三角點の槽の下で「隊長が して 異の側へ騙する」と、 が三角點の槽の下で「隊長が して 異の側へ騙する」と

診ると射入口が左鼠蹊部の内側で射出口が右臀部だ 順管と膀胱がやられてゐるな すと思つた、場所が悪い、メ てはゐるが、診た時は餘り出 ではゐるが、診た時は餘り出 ではなかつた「何糞」

長の側へ駆け寄らし

て尉

Ħ __ 1

にゐると

あるといふのである。

や的推進力で

H

號界

標

近に

(下)

ソ聯兵を撃退華ご散つた

故小泉大尉の最後を語る

超軍軍器中揭

で見て下さい」と調子中尉がたいに積んであた、遙か右前方に、 を見て下さい」と調子中尉が大きに失禮します」と言つて 自分は兵舎に向つて單獨で、 で表がし兵舎に向つて單獨で、 に積んでゐた、遙か右前方に に積んでゐた、遙か右前方に に積んでゐた、遙か右前方に を基に園まれて運ばれて行く 反達に園まれて運ばれて行く を基である。どうして居事 でない、拳銃を右手に擔架の でない、拳銃を右手に擔架の で大きたまたまたまたまた。

と、思つたとき自 たも微力でま

鈴木衛生伍長

音楽の

た た 満巻の外蛮が紅になった た 満巻の外蛮が紅になる、あゝ、もらい雪の上にボタ 大の實を撒いたやら と言ふと 眼を僅かした と言ふと 眼を僅かに ですか と言ふと 眼を僅かに と言ふと に で さい と言ふと に で さい と で が れる で と で が れる で に が と に が か れる で に が と に か と に が と に が と に が と に が と に が と に か と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に が と に か と に が と に か と に が と に か と に か と に か と に か と に が と に が と に が と に か と に が と に か と に が と に か と に が と に か と に が と に か と に か と に が と に か と に に開いて

皆んなの眼が、

に集めら うに落ち んか、何か

と思つて兵と思つて兵 に動く、紫藍 「天皇陛下萬歲」 動く、目を大きく開かれて、紫藍色に變つた唇が微かれから二三秒經過したらう

手を當番兵田中上等兵に握ら 自分は監長の意志を祭して除 しつかと握り、左 の萬歳を三唱した 唯一度、あとは

何か御家族に申上げる

電鉄に包まれて隊長は十二時 ではい眠りにおちた 窓外の馬軍の横木に名も知 ではい眠りにおちた

價特八

十錢新潮社

企良人 金板 小水樓 小水樓

領切水 戸光子 哀戀譜 大久保通夫

調明将軍と掏摸天中軒雪

栏

(他下)甲賀三郎)

境の砦を固く守らせ給へと花に魁けて散つた大和纓一様永遠の平和のため、満り図が光速の中和のため、満り図

映画物語日の大音・取、笠原良三

今村 少佐

不歐の保障義務 聯を勸誘せ チ首相、 ソ交渉の經過發表

タス通信社は八

る英國の回答は

最初の原案に若干の修正をは特に次の點に就いて、別が既にその姿務を異されためのコミットメントをすたしたからといつて、別でしたからといって、別でしたからといって、別では全く考めを負せよう等とは全く考めないといふことであるないといふことであるないと、

ゴスラヴ

樞

提携

4伊首相協議

如く述べてゐる

過を發表、次の如くその態度 日下院において英ツ交渉の經 日下院において英ツ交渉の經 が、チェムパレン英首相は十

ロイテル通信の放送

國海軍の威容

席して約五十分間に亘り現下に一年後ヴエネチア宮にムソリーでイッチ、ユーゴ外相は十日に

1 リー、ユーゴ関係の調整につますがイアはこの機會に獨伊スラヴイアはこの機會に獨伊の関係に

澤第通過に際し海軍大官カバーるイタリー海海軍業算案を可決したが、右ーし昨年度業算へ組合議會は十日政府提出の に對する海軍へロー▼十日被國通」イタリーニャーリ提督 伊海軍次官の演説概要

定締結交渉開か 一日登園通」ドイッ和交渉開始

要認定を表する。 「大学を左の如く登表、義務者として出された。」 「大学を左の如く登表、義務者として出された。」 「大学を左の如く登表、義務者として出された。」 「大が、関東軍兵事部性丹江支部といるがという、又兵役法の改善し、日間、大学に編入せられ本名。」 「大が、関東軍兵事部性丹江支部といるがと等のである。」 「大が、関東軍兵事部性丹江支部といるがといる。」 「大が、関東軍兵事部性丹江支部といるがといる。」 「大が、関東軍兵事部性丹江支部といるがといる。」 「大が、関東軍兵事部ではその、第十九師側長宛在智・大が、関東軍兵事部ではその。」 「大が、関東軍兵事部ではその、より施行せられた、こと」なるがと等のに編入せられた、こと」なるがと等のに編入せられた、こと」なるがと等のにより、より、 「大が、関東軍主人の野社のである。」と、なるがと等のにより相が、より、 「大学である。」と、なるがと等のには、より、 「大学である。」と、なるがと等のには、より、 「大学である。」と、なるがと等のには、より、 「大学である。」と、なるがと等のには、まり、 「大学である。」と、なるがと等のにより、より、 「大学である。」と、なるがと等のにより、 「大学である。」と、なるがと、まり、 「大学である。」と、なるがと、 「大学である。」と、なるがと、まり、 「大学である。」と、なるがと、 「大学である。」と、なるがと、まり、 「大学である。」と、なるがと、 「大学である。」と、なるがと、 「大学である。」と、 「大学である。」 「大学である。 「大学である。」 「大学である。 「大学である。」 「大学である。 「大学である。」 「大学である。 「大学



にゼヒノ

富爾兵中佐·小山和電場斯兵大佐·山內電兵

他數項に直る悲壯・麻場で見る悲壯・麻

競派受妻武士(王師清三)

讀切結婚の設計(中村武羅夫)

佛極東艦隊,

一千六百年記念に

呂城前廣場整備

東京市より計畫發

木市長就任の第一事業と

に決定。

れた、十日

間の池修築で記念質

に簡単に済むこととなり、義務者の手續が単なる在留地變更

印海軍兩司令官

讀明留守宅の歌森本岩夫

女房長脇差神田伯龍

派果心狀由來山手樹一郎

切玉ヶ海原勝名乗(鈴木彦次郎)

右

の計畫內容が發表さ

ため兩國間に新取極めを締結

功っちゃん 尾崎士郎

うむ

展·長谷川伸

南洋。

見店王成功傳品調整

節約は物に感謝心から、佐藤義亮

海の秘密・福永恭助

天地と共

永井柳太郎

治天一坊·川松縣

鄭川永井柳太郎

全庭の旗・山岡荘八

ゴ國交を明

を開始すること イツ代表側はリスアニアビャ イツ側の提案を手交した、確 イツ側の提案を手交した、確 を担は悉くメーメル港を経 変

要求につき日本の可能を掲げ日本の上半

兩國は新通商協定の締結交渉と對應しドイツ、リスアニア

西は妥當ならず 西界改組要求拒

ルトラス・ サイエンス・ サイエンス・ 上海租界改組 上海租界改組 上海租界に對する日本の砂点にあるが、その主張には、ない方が安富でから担否しない方が安富であらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、今回の紛爭につきあらり、 下お占きで頭はい分そ改

ない様に注意せねばならたに在留屆を出し馴東軍司令官

れけられる。んる になれる

銀の好角勇士もこれだけ を部高級オフセット グラビア印刷 グラビア印刷

海保料率引下

百番手双糸 八回園 六十番手双糸 八回園 六十番手双糸 八回園

課税債格 売公園 売公園

滿炭事業資金

一千萬圓貸付決定

聯銀券に對す打步

週間内に解消せ

に對比すれば總額において二 高間、合名會社において一億三千八百 百萬圓、合名會社において一億三千八百 百萬圓、合名會社において一億三千八百 百萬圓、合名會社において一億三千八百 京東に株式會社排込資本金 の業種別滑減を見るに増加して 大ものは交通運輸業の三千三 百萬圓、食料品工業の三千三 百萬圓、食料品工業の三千三 百萬圓、食料品工業の五百萬 圓の順となつてをり、時局產業の勃興を如實に示してゐる が、これに反し拓殖及び土地 建物業、林產業、水產業にお いてはそれぞれ微減を示してゐる

围

新

時局産業は拂込増加

四億圓を突破

◇小生は白菊町附近に住んで ◇:號、4號(日本橋廻り) る為者ですが、得朝八時前後 は何れも大同大海よりは同一 は殆どわからな も滿貫で、而も二合綴いてゐ 白菊町の者が兒玉公園前或は つてゐる様だ、 の西跋場廻りの4號線は何時 路を通つて驛へ行くが、我々 ございまアーす の西跋場廻りの4號線は何時 路を通つて驛へ行くが、我々 ございまアーす である、二合 吉野町に行く時、ことを通過 らぬ人は大困り は殆どわからな

何れかを中央通りを近り、 様にして欲しいのである。 れは誰でも日にしてゐる。 對に断行すること

しの方

計において二七九、八九三キョトンの減退を示し出廻り終 原と相俟つて輸送上滯貨捌き の順調を反映してるる の順調を反映してるる

1で一週間ペルー二週間とそれぞれ各國の柔道スポーッ團 と在留同胞の招待で柔道を 数授すると共に複範試合も行 い國技の生粹柔道を通じて日 本精神を傳へ南来諸國との親

高梁の約四萬キロトン、小麥 下豆油の僅少增量を除き大豆 で豆油の僅少增量を除き大豆 で豆油の僅少增量を除き大豆 で豆油の僅少增量を除き大豆







商况欄造

各地株式市况







トランク病院

出前

迅速

食慾增進

3

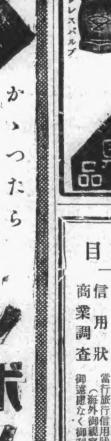
白露優秀工養成

鑛工技術員協會で計畫













濱 新京日本橋通三十四、

壹億參千七百拾五萬圓 壹億圓 (全額拂込濟) の御収次き、内地への組替へも迅速に御収扱致しま小口預金十圓より、定別預金百圓より、其地内地預 CIIIS MIXI 店京

内地向滿洲各地向も有利迅速に御収扱致します

海外支店出張所四十一個所、其門界各地向設金を御便利に御取

横 濱 金 銀 行 支新

合水 枸 店 新京東一條通三六 新京東一條通三六

肺結核、貧血、荊後恢復期、愀落症腺病質、肋膜炎、神経衰弱、性的減過特に心身の過勢 分(コール、次至調整石灰、芳香性ショフブ) 一回四一八五和 量の日本機関の

学理に基く 新時代。强壯劑 活力を増す



通条

飛東洋

るり羽は發賣以來既に三十年、染毛劑中の最高級品として、隆々たる整價を保つてゐる理想的染毛劑ですから、染めるには、前洗ひを要せ的染毛劑ですから、染めるには、前洗ひを要せ 特長を持つてゐます。ぜひ柳愛用をいい。 て染めればよいのて、 美しい自然色に・・・・・・ 染めるには 斯うし 極めて簡單です。 7:

カ絶大

新京取引市况。 東京取引市况。 東京政引市况。 東京政制。 東京政制

四 秀な柔道家の祇道方を外務省 でを通じ、人格技術ともに優 使を通じ、人格技術ともに優 でを変更があるが、去る三月には でを通じ、人格技術ともに優

手形交換

田田 ルギュ関立銀行公定 割引歩合引下 (ブラッセル十日愛園道) ペ 門子 (ブラッセル) (東京) (東京)

平90 単4元 | 10平 | 10म |

通

ネルのお話をしませう。 い成功です。この機會にトン

大大画 朝 三一朝 :

大、一八(大連)大、一八(大連)大米・一八(大連)大米船のお知らせ、一大米船のお知らせ、一大米船のお知らせ、一大米船のお知らせ、一大米船のお知らせ、一大地のお知られて、一大地のお知られて、一大地のお知られて、

ふ

0

番組 「新京 放送局」」

六、五五

(大連)朝の音樂

際除の目が

びイソベルレチエリンで、外の主成分はベルレチエリン及

これに効くと云ひます。 これに効くと云ひます また根や鼻を削つて煎用すれた時には白南天の實を住れた時には白南天の實を住れた時には白南天の實を住っまた根や鼻を削つて煎用すまた根や鼻を削つて煎用す

榴

れば强壯州、解熱剤になりときますが技薬、煎用すれば吐動用すれば必ず暖止のに効

室の内を生か

○ つた線なものを窓や入口など なることも思い、すだれ、よし戸、紗と云 これからの密 ひの気持が變つて來ます、更 のあるものを ひのを用ひると、部屋全 ○ ……要する これからの密

草花も家具も單色を選ぶ

3

盆栽

思ひます

室内裝飾の基調と

二、軍歌進なき

かるデオト作曲

一、軍隊行通曲

火筒の響遠ざか

大變氣の利いた

先がこんで来

太平洋行進曲 事項・今晩の番組事項・今晩の番組

天ぷら

食

道樂

ほ

6

電話②一二六二番

鰻蒲燒

感

このむとすぐ

も盆栽にし

い芽の

摘み方

又は生のま

初夏の室内装飾案

を析程皮

となりました、その主なものなだけでは済まされない時代でせり、花を眺め、實を味は

た木や草花の薬効を利用す

とも心掛けて

あてい

るといひます 時に一日三、四回づゝ少量を て薬用に供します、特異の芳 服用すれば子宮病に妙効があ 香があり稍苦く、收斂性があ で薬用に供します、特異の芳

その他ゲンノショウコなで を雑草のやらなものですが 下痢止めには著効がありま すから、庭の隅へでも植ゑ ておいて、必要な時に引拔 き或は蔭干にしたものを煎

その藥効に用ひ方

お宅の庭を利用

斃として竇難にも配合されて 用ひます、古來婦人病の特効 を関、繼座、通經等の諸薬に

余り重要されて居りません るますが、本日の醫薬界で

 \Diamond

(間) 子でございます、特効 (間) 子でございます、特効 (間) 子でございます、特効 (地域に罹り病氣が直つてから雨がたが、左目の白膜が自然収れましなで、が、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としてたが、左目の方が依然としているのでせらか?

法 している はいます は まっと は まっと が あっます。 一の 方法は 大 が あっます。 一の 方法は 大 で 大 の に よって 異 の で すった 似 如何 なる 場合でも 之れを で まった 低 当 で で も とが 出 来ます、 費 用 は そった 低 よくな ります で まった で すった とれ を で まった で まった と が 出 来ます、 費 用 は そった に よって 異 用 は そった に よって 異 用 は そった に よって 費 用 は そった に よって 費 用 は で すから 治療 うけ 様

す轉毛を受けて、 ででいた後温湯 をながられて、 ででいた、 ででいた、 ででいた、 ででいた、 ででいた。 でいた。 でいた。

を選名で

フランといつて

眼 球

0)

白膜除

去法

(答)

のぞく方法は色々る白い混濁をとり

サフラン

離蓝頭を乾 したも

0

豆

▲子供薬物大會 ▲生ビール開始四階食堂 ▲生ビール開始四階食堂 「関始の間では、一階」

暴きった をやか器一に紙油 ころが

ると、油が墨をはじい 常に文字を書からとす 字を書く 盤

が酢を入れてすっ のですともから が酢を入れてすっ のですく書け がありです。

布 毛 方仕の濯洗 毛布もそろそ で来ましたが で来ましたが るには微温湯

相

談

合にこれで含喇します

なほ濯ぎ、搾らずになほ濯ぎ、搾らずに

一、白い混濁を黒く染める方あります。

醫學博士市橋貞三

光質して、

東京放送管絃樂画東京放送管絃樂画

清朝と英國

お茶と茶道具の店

F.

当時に七〇巻

106番 (東京 京) (東京 下) 本の芽が出るだけ

腹工合思き時 は

惡病流 行 スグ

技先のこんだものがいい事 は誰でも知つてゐる新芽の 木質化の時季は其の土地の氣 候によつて異るし、日當りな どでも異るから適當によい頃 を見計らふ事が必要である。 指揮 陸軍々樂准尉 中支派遣陸軍々樂隊 卯三郎

うなぎ丼 を始めました 酒は月桂冠

...

种慢精高神不 性力 經 胃減血衰 野京永樂町二丁目四(ダイヤ梅大平崩)と

辣山下紅燕院出張所

本店 新 大南 京 同 出支張

洲興業銀行

支店、出張所所在地

目種業營

共置預中產公普 他条金小葉共通

般系爲金金金金金 教務菩薩強強國

備 新宗ダイヤ街走松町

病 室 完

肛花科 門病 所 科 性病 科

以上の主がで昭和十一年九月 たれの試制抗は内部の直復二の があったく関門海峡トン の底からったく関門海峡トン

て完成した海底、 になってるますが になってるますが

に誇り得る輝かし が底トンネルであ

1

序、

おを防ぐために今度の豆トン

管絃樂

刺「アルテイワ作曲 ボアルテイワ作曲

ろの困難があ るにはいる

海底墜道の開 全世界で初めて 九二しトを海 月 ンネルは本トンネルの水技き ルが完成しますと、この豆ド ルが完成しますと、この豆ド 輝く關門海峽墜道

後は日本中至る處へ大小数多くのトンネルが振られました。……。 かしこれまでの かしては今度の闘門豆トンネルは全部 めてばかりでなく、世界でも 別の底を通るトンネルは外球にも澤山あります

尿無線

遠慮なさらねばなりません

世 と容器をいためてしまひますが、初めから と容器をいためてしまひますが、初めから と があるからです。但し器物まで溶解するアルミニュームや錆を生ずらする。

コンドハ

当月

ものを採取して白 腰痛、 また化蜂の白色

れば解熱、腰痛、婦人病、して貯へます、これを服用

藥

(日曜金)

はいで蔭干

すると赤痢に効くといひます 東東を養干 選 東東を養干

て服用すれば下痢止及び白に効き、花全體を蔭干にしまた根皮を燻繞すれば水虫

サルヴィヤで乾燥し

朝。 類 ウオルウリンといふ成分があつて、瀬州ナれば迅速な潟下列になり、 開州

連載漫画オーフシェントロチャー

△……私共は芝 島の舞甕を作る 島に限に凉しい 感じを興へるこ とを心がけてを りますので、其 りますので、其 いろの特別な趣 でこゝには大體 でこゝには大體

な、夏分には凉しい感じを與 な、夏分には凉しい感じを與

どの装飾品をお

る布にかへます よい感じが致しませ

0) あシ く育ち、徒らことこれでもない。日 の薫風であ とした徒枝にもならなく育ち、徒らにひよろ の風は吹くと

長

崎拔天

最も大切なものは日光と初夏所に置き、人間でも植物でも所に置き、人間でも植物でも肝要である、先づ鉢物ならば いつて 個々の庭 にかけて松の類のにかけて松の類のの出ようとしてるるから、この松の葉の で程よい所

肝要である、先づ鉢に強く育てて置く事

手當をして軟化させないやう植物も此頃の芽の伸る時十分

十分丈夫な校に育てておいて

と飲を使はずに指先としてゐる時である の類のミドリ(新 びきつて特に

實した木にしておかねばな日光と初夏の風とで力の光

くなるが、花を見らいなるが、花を見らい 今は切つてはいけない は九月迄刈り込みをむのである。この外がら適當に當を避け 花を見るために

機運寫

ラテラギ 森 Et/注目連通典中

被关伍長 被关伍長 漢野進二郎 外

八、四〇(東京)合 唱 思ひ出の唱歌集 大阪ラデオオ

一、震か雲か 原京放送管絃樂層 一、雁が渡る 一、雁が渡る が 上が とは とは を 出が の 月然 護圏ブラ

二六番

院隨意

電話 ত্ত 五六

間らせて飛石の煉瓦の上に立たが稍あつて豆軀をひらりと を見廻はしてる

照轉手に腰を組げる

このた。 私は豪平と

りるのに留うす 社會のすべての事は永遠に がは、 をと建築するのについてもである、本

は なかつたのだが、家屋恐慌の 大い は いったのだが、家屋恐慌の である、そしてこの いっぱらの である、そしてこの いっぱらの 一端を見得る。 孤島の 時形的 設展下に、時形 事質は は である、そしてこ いっぱい である、そしてこの いっぱい である である (元)

慰問後に 回効散 で歯類、面類に過ぎされてはと就後の人々は認 されてはと就後の人々は認

本舖

命会

森 田

製藥所

六

跑在

製

是洲

0, 20 0, 30 0, 50 1, 00 2, 00 5, 00

知中式瓦斯倫機關來

聲紫餅 東京市京構區京構三丁目五番地

田

中に物凄い威勢で飛び込んでいるという。これを大きだしながら、泥道の原を吐きだしながら、泥道の原という。

告ではない、所謂「十五年ただで住み、十五年最には返す」 といふのは事實である、だが 土地會社はいかなる利益を得 るのか? 土地會社は建築に震事する

界内の建築は建築章程の東緯値対は更に儲けた、それは租地界築路區域ではこの土地

天小程

かぎ

はまうと住むまいと彼には問いた。 を住人に渡す、彼にはもうまではない、その後家に人が を住人に渡す、彼にはもうまではない。

道者請は二十分程であつた。

立たりは対するといふものが盛んに でで「小租」といふのを見した、 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子がのだりである。 を置っては、先づ信子があった。 を置っては、先づ信子があった。 をで「小租」といふのを取る、家具は含ま をで「小租」といふのを取る、家具は含ま を持出すのを阻止した。 をで「小租」といふのを取る、家具は含ま がな家屋窓慌ながら、家具は含ま がな家屋窓慌ながら、家具は含ま がれた。 を持出すのを阻止した。 をで「小租」といふのを取る、 を持ったのだが、 をで「小租」といふのを取る、 を増ったのであった。 を持ったのであった。 を持ったのでは、 がは、 を持ったのでは、 を持ったのであった。 を持ったのでは、 を持ったのであった。 を持ったのであった。 を持ったのでは、 を持ったのでながった。 を持ったのであった。 を持ったのであった。 を持ったのでは、 を持った。 を地を を持った。 を持った。 を地を を持った。 を地を を持った。 を地を を持った。 を地を をがった。 を地を をものか」と言ふ。 に、 を対った。 を対った。 を持った。 を地を をがった。 を地を をものを でで、 を地を をものを でで、 を地を をもった。 を地を をもった。 を地を をもった。 を地を をもった。 を地を をもった。 とをこを他

借手は数子元の「預費」を出してもたいの借家人となるだけである、今も少し出すわけだが、今度は家質なしに十に変してくれるといふ。これは返してくれるといふ。これは甚だい」ではないか。

一、建築費に三千元出す。 会する、これは十五年後に は元利合計五千元になる

では何の干渉も受けない、ど ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ところで以上のやうな一切 ある。質の離民になれば、彼 等には五十元といふ金もなく 一間十五元の部屋を借りる資 格もない、彼等は仕方なしに 路や、軒下のセメソトの上に ところで以上のである。

がある。 地の負擔にはならない。五千 元を取ると彼の支出は斯りで ある。

を は の は 工 が の は 工 が の は 工 が の も 人 々 の 通 行 は か ら は 全 く 交 通 は 社 絶 、 そ れ か ら は 全 く 交 通 は 社 絶 、 そ れ に 減 り 込 ん だ 荷 車 を 助 け る の に は 何 信 か の 苦 勞 が 重 ね ら れ

げてるたで

に 出さず、居然として持主の地 者 位に坐るのである。そして普 者 位に坐るのである。そして普 通の持主が享受出来ぬやうな ち、これは「艫を分つて費り出 に すといふやり方である。 主 いはゆる艫を分つて費り出 に すといふやり方である。 土地を持つてゐる會社が大き を 工場を持つてゐる會社が大き は てる、毎幢五千元の價格で費 に 出さずに十五年佳める。それ に 出さずに十五年佳める。それ に 出さずに十五年佳める。それ

とろん~の道の中にい煉瓦を五つ六つ胸に玉宝といふ青年の大つ胸に

孤島

0

住宅難

5

草の 0

昨夜の雨は今朝となつて舞れあがつた。

及りする隣の大きな邸の方を私は狭い窓から自動車の行

でも数うつて行くやうに感じ

おまる。鼓動は血管の端口ま
の心臓は大きく

がウオート酸と力を合せて四、五人とは言へぬ男たち

下での間は今朝となつて舞ります。 「中夜の間は今朝となつて舞りする隣の大きな邸の方を にあいった。 成りする隣の大きな邸の方を にあいてある。 作めてある。 が見える。桃が見える。 が見える。桃が見える。 ががった。 は数かい枝を有つたなつめの樹 不調私は春の近づく遺音を はかり彼方の屋裏店に陳べら を行つ心臓が急に鼓動を引め を行つ心臓が急に変動を引め できたのだ、と私は自答した を行つ心臓が急に変動を引め を表にさせた。 を持つ心臓が急に変動を引め を持つ心臓が急に変動を引め を持つ心臓が急に変動を引め を持つ心臓が急に変動を引め を表にさせた。 を持つ心臓が急に変動を引め を表にさせた。 を表になる。 を表にさせた。 を表にさせた。 を表にさせた。 を表にさせた。 を表にさせた。 を表にさせた。 を表にさせた。 を表にさせた。 屋豪店の商人は鼻汁を掌で 横の方に拭きあげると、ニャ りと一つ笑つた。骨と皮とに 投せこけてゐる六十爺の商人 は、泥の附いた夏密柑と南京 は、泥の附いた夏密柑と南京

私が一坪の土地をも所有し よろこびとなつて擴げられる 老質と呼ばれる王青年と、 をしい屋豪商人とを眺めてゐ る時に私の顫は碧空の如く輝

陽の光は明るい春のものだ 風は芳しい南のものだ。 風景な感じを抱かせてきた。 幹などが、春だといふのに殺 のは、なつめの枝、桃の 「泥をかけられてそれで平 気であるなんて余程お見出度 くできあがつてゐる商人だ。」 私はから想ふと全身の力が 人たちが言ひ合つてゐるのが ゐる隣の邸を見直し 窓を通しで私に聞えて 月に近付い 垣根 (土塀) を有つて ちな大きな屋

作の群がその附近に舞ひあが つてゐるけれど、單調な光景 つてゐるけれど、單調な光景 のたが、大きな邸の眞上の方 るたが、大きな邸の眞上の方 餘念なく風をかんでゐる馬夫の歌 ツ女は 燃えるやらな薔薇色の頼 有路橋の蔭で

な薔薇色の頬を叩いてゐる。

ट

此の情景に笑ひ痴けてみ離めかしい若葉は

と続いて縄を握つた男が答ったようだつた。 り締めた男が言つたら 一腰入 れてみよう 先に流網を握

はれない魂の香を有つてゐ はれない魂の香を有つてゐ るものはない。人間の魂を 枯らしてゐるのは、大きな 郡に支配されてゐるブルジ ヨアだ。魂の上に富といふ 重石、名譽といふ重石、地 位といふ重石を載せてゐっ

重い量が入つてゐる廠袋と 東は動きはしなかつた。 車は動きはしなかつた。 てやるとエイヤ (と言つた 荒縄を梶棒の兩側に引つ懸け た四、五人の男たちは、長い た四、五人の男になる。 掛壁で荷車の敦助に力を合せ

とを一緒にする民衆たちで野ひ、踊り、唄ひ、笑ふこ降ひ、踊り、唄ひ、笑ふこ

荷馬車が泥潭の中にはまり 王玉堂は敷刻の後に再び煉 人たちは安心して其臨 助勢した人々は 泥水を割つて荷馬軍は不断に引張つた。 一緒に笑つ

私の心は明るさを輸した。 でうなことが書き認められる であげてやるのは傲慢な がきあげてやるのは傲慢な

く効でんのに痛頭と

10×7 15×9 20×10

各型在庫豐富

近時のこの作者のものとしては珍らしい身養小説である。 住態妖態であつたが、だん(一落ち荒いて来るたの間に失は、今まで家庭の經濟生活について妻にいる、住態妖態であつたが、だん(一落ち荒いて来るたこともない妻なので、幼い子供たちまでが變な類持になってしまつてゐる。家の中を音を立てずに歩いたり、夫は小鳥を放したり。作者が示す一つの年輪みたいなり、は小鳥を放したり。作者が示す一つの年輪みたいなり、大は小鳥を放したり。作者が示す一つの年輪みたいなりである。枯れつゝも瑞々しさを失つてゐない。

經痛に効く 無信用は松戦の戦

土

田中式

土

鑛山機械

種製作中

製

行

洋

作

械

所

部

工 協 東京市是立區千佳物町三八番地

頭痛に効く 所は所を がと所を 源は に所を 源ばれ 質が の中など 登山、運動の際、 を止めるばかりで なく御戦感を変い なくの思慮の概念 子供の思慮の概念 で面も明れる気も 痛に効く 所発散を取めば経

神経病病 を服むと忘れた様に楽になる 想像以上のものがある 思はれる支け本人の苦痛は 思はれる支け本人の苦痛は せ 頭痛がする 上のものがある が痛い

ほしくない



日本ゴム車輪製作所 大阪市西區新町通三ノ二二電話新町二六六四番 振替大阪九一六三九章

いらぬ 低を以て迅速確實に修理致しの如何なる種類のどんな難治事。 各 马 他 雪 オッオオダ

職山•人絹•紡潰◆踏工場用

中央モー 新京費山百 2 六 ター 七贯店北寄 ス商會

ます

理

種

莳

大阪市浪速區數律町

出

H

金屬彫刻所

替口座大

期

迅

速

各

띪

乞

御

越 丸話 . 3 パーパ輪サイ州イ車ン 五荷 類 定 活 生 町 八 造 富士町 七 賣 四格迅 荷丁造 並 番 of

新京神 院長 徳 丸スガ 電の六二四二条の無二番の 春 スク前 醫 院

滿洲區總代理店 信 大 獨特自慢の自製品 イヤモンド 製各 夕 造租 整町ラ 販 砥 製 - --質石

高級金剛砥石補造版費 以米各國研磨材料直輸入 以米各國研磨材料直輸入 道太 贝反 ルプラシ 商 大阪市浪速区桜川 體監復川(84)二人二個警 擬 替 大 阪 七 五 六 五 二 署 工 場 京 都 伏 見 深 草









き、どひむ温水

月南嶺で開催

交驩競

備委員會設置さる

委員會構成

如く決定し十一

男、日下部三紀の諸氏、排 ※天市事務局二名、陽東州 二名(第一大委嘱) 宗、 齋辰雄、 鮀球土肥多 宗、 齋辰雄、 鮀球土肥多

森田警務科長談 経費になし

冤魂復仇

檢閱却下

感な

會協談和

開して首警森田警務科長

ます、警察側も民間側も同時では、

残念で

たが、 楽で見た

重大なる候陥

効果を認

め

は子供三人もありなが

ふものすつかり頭が上らず 目数未遂をやられてからと 日数未遂をやられてからと すがに 変れ

春の機風に誘はれて京

日本人側は否定

アレ合であるが、 けてのであるが、 けて一般からも聞

つた事は

検討、検烈な自己なから、大きなから、大きなからいま同協などの、は何處へ行

民間 の意見希望に

警民懇談會

に

離

反

暗

言察官側の壓迫 反省要望の聲昂まる

型意見を述べたものが其後に の警察行政の確立どころか反 がの警察行政の確立どころか反 ので深刻なる警民離反の動機 となり、懇談會に出席しても となり、懇談會に出席しても となり、懇談會に出席しても となり、懇談會に出席しても

ので協和會當局では事態を電 席代表の上に加へられてゐる 所の際も之と同様の事實が出

一赤裸々に實

和 反省を促すことを最後の問題 なる市民特に満人側方面の口 なが、最近國都に於ても善良、から「あとがこはいから思ふ でをり、からる事態は聯合協 でをり、からる事態は聯合協 であり、からる事態は聯合協 であり、からる事態は聯合協

満映製作方針に重大缺

ながら親酢に発湿されたながら親酢に発湿された 打海 軍記念日行事

銀對中對滿對銀二時十銀球滿銀滿洲滿 - 回 - 四二

(三時) 興線對滿菜(五時) 中銀對興銀(二時) 甲銀對興銀(二時) 中銀對滿菜(三時) 中銀對與銀(三時) 中銀對中。 一十日 興銀十十日 興銀(三時) 中銀 (三時) 中銀 (三時) 中銀 (三時) 中銀

大會議室で協議具體案を決定協和會關係者參集の上市公署、協和會關係者參集の上市公署、協和會關係者參集の上市公署、 世

後の日割は左の如く變更さの日程は一部簽表したが、の日程は一部簽表したが、の日程は一部簽表したが、 球リーグ日程 日間は左の如く變更されては一部發表したが、今長官杯爭奪野球リーグ殿 特望の盟邦獨逸の空の親善使 節ガプレンッ機は豫定日程の 如く十二日午前七時東京羽田 空港を離陸大日本航空機ハイ シケル東郷號が誘導して能登 を通過、茂山上空を経て國 不入りのコースをとる筈であ が入りのコースをとる筈であ

ケ歌邱賀葉瀏神

度、滿十七

石錦山山山里山湊洋山川潮嶺山山花山川山登川里

4 概 三 水部

七四年除

概/

テルに入つた、武営常務、の定期旅客機で來京ヤマト

御贈勳の御沙汰 生方補給處長ら減航資腦

製善に寄興するところ大なる 整使節ガプレンツ男が、日獨 空港に安着したドイツ空の親 でおいまる四日初田 のなを結び去る四日初田

伍堂卓雄氏來京

中受候中受候が込金百圓に付一

一日金四銭の側にて違約金可

め行きは大いに がさらであるが では同作品を

八は十一日赴任挨拶に来社 本惣治、同理事吉田寅五郎兩 本惣治、同理事吉田寅五郎兩 本惣治、同理事吉田寅五郎兩

天ぷら

道樂か

ほ

3

鰻蒲燒

うなぎ丼

電話②一二六二番 大經路草津温泉前

を始めました

酒は月桂冠

でではない。 東京では変数では、 ででである。 でである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 ルを休業さす 法的根據を

フォード合社

ラツク献納

フォード自動車舎社では同社 の自動車が満洲事變、支那事 の優秀なるを確認され、多數 の優秀なるを確認され、多數 國精神の最高熱烈な體得者で つたが、良く考へてみると建 がて溝面朱をそよく質慎と総 はかけないだらう、これは官 呆氣にとら 米須にとられた保安料ではや 業さすのはけしからんではな 素さすのはけしからんではな したい、法的根據なくして休



一、本委員會と追加決定すべた。 を日滿華交嫌激技大會役員 とは有機的關係を有するの なならず、本委員會委員を兼ねることあるは勿論なるも本委員會審委員を兼ねることある。 では一個では一個では一個では一個ででは一個でででである。 を自己ででは一個ででは一個ででである。 を自己ででは一個ででは一個でである。 を表して当時の関格を可るで、本委員會に関して当該委員會で、本委員會委員は各分科委員會で、本委員會委員は各分科委員會で、本委員會のの分科委員會ので、本委員會のの分科委員會ので、本委員會の分科委員會で、本委員會の分科委員會で、本委員會の分科委員會ので、本委員會の分科委員會ので、本委員會の分科委員會で、本委員會の分科委員會で、本委員會の分科委員會で、本委員會の分科委員會で、本委員會の分科委員會の、本委員會の分科委員會の、本委員會の分科委員會の、本委員會に、本委員會と追加決定する。 以来首警では「法的根據があっていて事なく濟んだが、それついて事なく濟んだが、それ お」「行つてもいこと 的根據があるか?」と流っ行ってもいよが僕を誘ったるいとが僕を誘ってもいるが僕を誘っているが人をあるか?」と流っている。

會場

同



北の風晴時々級 規則書は後接各店に有ります 配人モ デ N 四〇數名出場

る眼鏡を御掛け下さい して肉眼の延長で御座います此の際是非正確な

清眼堂

第三年 東天東大營(率天中央郵政局私書画六三) 東天東大營(率天中央郵政局私書画六三) 東天東大營(率天中央郵政局私書画六三) 御希望の方は左記へ御問合せ下さ本局壹個 分局壹個 電話即時譲る

歌京県安大路石橋に内 豚まんぢラーの東大 支那料理 一条大 電話②一八七八②四九五二番

排 込 金 額記

排込期日

十一日 田和十四年五月三 一株三付金十三個

売 本 三 郎 電③三四四八零中込人東一條通り巴族館十二號室上地議渡安達街(商店街)目拔の場所

熱療法に依る 病專門

文言、 東京、 東京、 大阪、神戸、下開、大連各支 所銀行本店、同東京、大阪、神戸、下開、大連各支 解銀行本店、同東京、大阪、神戸、下開、大連各支 解銀行本店、同東京、大阪、神戸、下開、大連各支 版、神戸、福岡各支店 版、神戸、福岡各支店

四年五月 | 「海番野金利用者に限る」のでは、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・一郎、 「東本・ 「 「 「 「 」 「 「 」 「 」 「 「 」 「 」 「 「 」

滿洲電信電話株式會社

新京熱療法研究所 新京曙町脇坂ビル(長春寺蘭)サレモア東京光線満洲總本部

會期 五月二十)日(日曜) 田 天の際は順延 正午より

寫眞報國 春季大撮

後主援催 **千四百六萬六千九百圓となつ**

命四月

お新京陸軍病院に入った で着京、直ちに職友に附添は で着京、直ちに職友に附添は で着京、直ちに職友に附添は で着京、直ちに職友に附添は

歡迎準備完了

ム國都

柱陸若一白金八富矢布小錦牌 奧 華橋田管 戶 川錦浪渡灣山錦山山引岩谷里

新學期を控

へて小中學生の視力は其の人の成績

店の鏡眼双ミ鏡眼

8

清

Ħ

3

眼

を左右するもので御座います目は頭腦の源泉に

一後一時半、新京神社で清減を 受け直ちに納入すること、な

新學期ミ小中學生の

台の献約を順出で嘉

清职堂

清眼堂

眼堂

が、久しくな

ときんし失敗をや

になつても塗へ戻つ

ムスガユキ皮膚病、

大見には觸れ

『さう、他にも良いところがきつとあるんだらうと思ふわきつとあるんだらうと思ふわだけど、なにしろまめ過ぎるんで、他が分らなくなるの』 弓子一流の輩舌が、このとにはまつたく苦痛のなかゝら

溶透療法の覚醒!

あると思ふんだ

皮膚の異化作用を見取配送した組 皮膚の異化作用を見取配送した組 を というで、 内部にかくれたパイキ を というで、 内部にかくれたバイキ

ふしである。

そこと右腰と、左

『ヘッ?』 『ヘッ?』

意味、

あるちゃいの。

弓子は、云ひながら痛さ

下 井 米 安東、無順、新京選 自来各選地米 前来各選地米

野瀬米店

出勉强 田大安売

(昌崇ビル内)

玄 大阪商船出机

三袋町三ノル

日間の結婚媒介部

第3下ONA 自職會

い、あんたは質にまめい

か、後は、

からも當分これだと思ふと

外務 新京中央通四二電3四九五九 女中女給票務員ボー4其他 男女職業紹介 募集 日、満人 以イヤ精梅枝耵稲野ビル

ほれつざ

大名 工場古物問屋河 內屋前店織道北 爾第31191五四番

看板

新京吉野町二丁川 ・お茶道具はお茶道具は

市光堂族院

お茶と

海へ入港。それに、上海を出海へ入港。それに、上海を出る。

・食堂も早日にとざるれてし、 でも遊灯が観重になり、酒場 でも遊灯が観重になり、酒場 でもいつ

たかひ、下侵的な従順さをあれた。 な受けを捧げてゐる。 し、がれ、右は漢ましい腰邊に な受けを捧げてゐる。 し、がれ、右は漢ましい腰邊に な受けを捧げてゐる。



が鬼、た鬼、いんきん、あせも が、 配別鬼等の寄取に敷された はたけ、ユキビ、髪、

田花园

タイプ印書 代立





極便迅速

東省實業株式會社

[[在所 [[京特別帝大同大街四〇六]]

東拓ビル内 (電2四九一七)

●専屬荷扱所

大阪 南船 株式 會社 ・ 京事務所置3 20人九 ・ 京事務所置3 20人九 ・ 京事務所置3 20人九





入中甲一丁目(開ビル) 電話 ③ 五五四カ番



(日 曜 金)













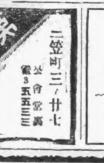
『ちや、處世哲學?』 スポーツマン色魔ね。いっつまり、よく世間 んと嗤つた。 娘を悦ばせ

りからない。 の作品をはいいでは、 の作品を表する。 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を、 の作品を の作る の作品を の作る の作品を の作。 の作品を カメラ修理 カメラ修理 新京銀座 版寫。眞 機 店 電話3 二三九0 をなさざる品の 高上町ニノー五 に限る 可號守物土職材料運搬 電3五四五四 トラックの利用は 平野工務所

人を求めたき者と本向へ 気3二七四七巻







或

債高價買入

-11.F

-11.F

-15.31

F

福信鹽株式會社

土地と家屋の管理及賣買

家屋建築の

御 相談

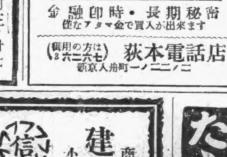
に適

春

Ŧ

ド多量入荷

人船町四丁目五 男女數名



宋松接骨院

● ● ● ● ● ● 中 琳 肖 編 神 擬 人 料 医 柄 柄 柘

又又炎

電話及金融

◇あんま特設

氣便

火通り

建藥資金貸付 商業資金 小口資金 **新京特別市東二條通三十四番地** 住宅向 店舖向

家

花崗石、温石部

滑石、禁石、硫化蝾螈

本支店

大通、睾天、

哈爾濱、青島

北票、銑縣、旁蘆島、天津、鞍山、撫雕、四平衛、吉林、

住木斯、

北安鎮、孫矣、







6 せ 知御

新京唯一の専門店へ晋色の良き琴三味線

作家具ジューダン 一番 今春のフアツションを誇るチュウリンへ! 毛皮を脱捨て、潑溂たる春の装ひには 營業時間改正 每月一日

六五五五五(三)

午後八時まで 陳列會

〇三五③電七一通橋本日

新菜特別市八島通四二

會株社式

司

福 專務取締役

大阪海上火災,豐國火災、滿州生命 資本金三百萬圖 (全額排込) 生

英工ゴムタイル、無順セメント、助水材料類、煉瓦製造販賣、建村製作所製作金物、塩材製作所製作金物、坂本式スカイライト、ペンテレーター、タイル、テツタス保板、ペニヤ板、矢橋大理石、デラゾー、田中式カストストン及タイリングコート、OSO毬輝設油、石油、重油、機械油、礦物性ターペンタイン

8mmペアサング、ベルト、陸旋製品8mmペアサング、ベルト、陸旋製品8mmペアサング、ベルト、陸旋製品1、全庫、慎王ストーブ、ワーヤーローブ、マニラローブ、亜鉛引鐵線工作機械、電氣機械器具、糖山鐵道用機械、土木道路用機械試験機及度量衡機、重備、軽油製工作機械、電氣機械器具、糖山鐵道用機械、土木道路用機械試験機及度量衡機、重備、軽油製 人絹及スフ織物、毛糸、茶、洗濯石鹼、其他

女是 栗

山

太郎

、台灣疾峽の魚腹を肥してたとしたならば、いまごろたとしたならば、いまごろ 危かつたのである。 **『分りました。』** 美

がはじまると忘れてしまふ… 常時の馬鹿力なんて?。あれほど、お痛めだつたのが襲撃 いや、氣が張ツとりますと、 るが、そのあひだ痛みはない い。それで、お出ましにはな 靜かに莨

畵 試おけつ一に等

恐給 令科智(公司) ◆本行行 十五行 選 「可企」 「可企」 於連市西公園町一 撤保貸付 第11 20 30 五0 一番

「南州堂で 電3五一三六多件」とタイプ印掛は収一

装 板 號 四 九 路經大京新

月

印刷及帳簿

三友社 保証3 三四二四

特効樂安心散

吉光堂療院 2

電話賣買 見 電 話

維室!

▲商事

部

諸難貨

編設兄弟商会車公学校前

氷柴町三ノーーノ四 電 8・5909番

确自 動 翼

| 一りご, チューリご, チューリニ, チューリご, チ 廣 告 0 御 用 命 は

0

十五日平日通り管電 川一川川〇〇番への